



秋田ふるさと検定試験 問題用紙

(午後1時30分開始 制限時間100分)

第10回 1級

注意事項

1. 答案用紙の記入にあたっては、HB又はBの黒鉛筆、シャープペンシルを使用すること。
2. 解答はすべて答案用紙に記入し、提出すること。
3. 問題に解答を「漢字で書きなさい」と記載している場合は、ひらがな、カタカナ表記は不正解とします。

平成30年9月2日

秋田県商工会議所連合会

【歴史】

(問題1)

イギリス人の女性が明治 11(1878)年に東北・北海道を旅して著した旅行記。山形から院内峠を越えて秋田に入り、大館から矢立峠を越えて青森に抜けている。彼女のスケッチから当時の秋田の風俗を知ることができ貴重である。この本の名前を漢字で書きなさい。

(問題2)

江戸時代、由利地域の領主は目まぐるしく移動した。戦国末期、この地は小領主が複雑に離合集散をくり返していた。関ヶ原合戦の後、隣領山形の最上義光領となったが、その後最上氏が元和 8(1622)年に改易となった後、由利領 55,000 石余りの領主となった人物がいた。しかし、わずか 1 年で改易となり、その遺領には 4 人の領主が入部することになった。この人物の名前を漢字で書きなさい。

(問題3)

下記の記述について、【 】に当てはまる語句を漢字で書きなさい。

現在の秋田県は、律令政府が定めた行政区画(8世紀～9世紀)によると【 A 】道に属していた。その後、源頼朝が鎌倉に武家政権を樹立し、武家側の組織として国に守護、公領・荘園ごとに地頭を自分の家臣である御家人の中から任命した。それとともに、都から離れた地域には特別な役人として、九州には鎮西奉行を、そして奥州の御家人の統率として【 B 】を置いた。

(問題4)

下記の記述について、【 】に当てはまる語句を漢字で書きなさい。

秋田県には数多くの神社があり、人々は神に様々な願いをこめて参拝に訪れている。源義家が再建したと伝えられている【 A 】神社は、樹齢300年を超える参道の杉並木とともに安産・子宝の神として古くから信仰を集めている。また、二代藩主の佐竹義隆が訪れた際の出来事に由来する【 B 】神社は、不老長寿のご利益を求めて多くの人々が訪れている。

(問題5)

下記の記述について、【 】に当てはまる語句を漢字で書きなさい。

秋田藩には、他藩では使用されていない特有の歴史用語がある。そのなかで、藩が家臣に与えた知行高の60%余りを、藩財政を補強するため蔵分として借り上げを【 A 】と表現していた。また、藩主の直臣である武士の中で、久保田以外の要地に派遣されていた直臣のことを【 B 】と表現していた。

(問題6)

律令政府は東北地方への経営のため、多賀城や秋田城を拠点として地域の人々を律令制の中に組み込み、政府に帰順した蝦夷、即ち俘囚と表現していた。この俘囚の代表豪族である俘囚長には、出羽山北と陸奥国奥六郡にそれぞれ実力者がひとり存在していた。それぞれの地域の俘囚長の一族名を漢字で書きなさい。

(問題7)

戦国期、秋田地方を支配していた武将達は、ほとんどが関ヶ原合戦後、秋田の地を離れて常陸に移封となった。しかし、その中には、再度、秋田の地に大名として帰ってきた家が二家ある。その二家を知行高の多い順に漢字で書きなさい。

(問題8)

下記の記述の中から誤っている箇所を2箇所見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を漢字で書きなさい。

- 1 院内銀山は秋田藩の初期の財政を支えた重要な鉱山で慶長 11(1606)年、4人の武士達によって発見され、日本を代表する銀山となり、生産された銀は幕府に運上銀として納められた。
- 2 阿仁銅山は、銅山としての開発は寛文 10(1670)年から始まり、後には幕府から長崎手当山として指定され、海外貿易の際に相手国への支払銅とされていた。
- 3 安永 2(1773)年、秋田藩に招かれた平賀源内は、産出量が衰えて来た荒川銅山再生のため指導者として来藩し、その効果は後年成果として表われる。
- 4 昭和 20(1945)年 6月に起きた、いわゆる花岡事件は花岡町(現 大館市)の花岡鉱山に強制連行されていたアメリカ人労働者らが指導者を殺害し、800人余りが周辺に逃亡したことが発端であった。原因は、鹿島組による重労働、食糧不足、虐待など不当な扱いへの抵抗であった。

(問題9)

下記の記述の中から誤っている箇所を2箇所見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を漢字で書きなさい。

- 1 石川善兵衛は、本荘藩の海岸部を中心に五代89年間にわたり防砂植林事業で黒松1151万本を植林し、飛砂による田畑の被害を防止するのに成功した。藩はその功績に対して子孫を二人扶持の士分として待遇した。
- 2 高橋武左衛門は、平鹿郡下境の豪農の家に生まれ、24才で肝煎となり、荒地の開墾に努め、その功によって郷士となり苗字帯刀が許された。安永8(1779)年からは四ツ小屋、御野場を開墾し、400haの美田を完成させ、藩主義和から褒美を与えられた。
- 3 渡部斧松は檜山生まれで、27才の時、おじと共に鳥居長根(男鹿市若美)の開拓を始め、寒風山山麓の滝の頭から水をひく難工事を完成させ、新村 渡部村を誕生させた。
- 4 高橋正作は、雄勝郡桑崎村の肝煎として貧困に苦しむ村を救うため、開墾と杉の植林、院内銀山で不足している木炭の生産に取り組み、村の復興に成功した。彼の活躍は多くの人の知るところとなり、若き日の栗田定之丞が1年半にわたり正作から教えを受けた。

(問題10)

秋田市高清水公園内に奈良時代から平安時代に置かれた秋田城について、次の3つのキーワードを必ず使用して150～200字程度の文章で説明しなさい。

「国府」「渤海」「迎賓館」

【観光】

(問題1)

横手市増田町は、明治前期から戦前にかけて特徴的な正面意匠をもった大型の町屋が立ち並び、当時の繁栄を今に伝える伝統的な町並み景観と国の登録文化財にも登録される建築様式や技術などの文化的価値が優れているとして、仙北市角館町に続いて県内二番目となる「ある保存地区」に選定された。その名称を書きなさい。

(問題2)

平成 25(2013)年夏、一世紀の時を超えて能代市に巨大な城郭灯籠が復活。その灯籠の高さは17.6m。さらに、その翌年には高さ日本一となる 24.1mの灯籠が太鼓やお囃子と共に能代の街を練り歩いた。今年も8月の二日間、「能代七夕行事」で運行された城郭灯籠の名称を書きなさい。

(問題3)

平成 30(2018)年7月1日に、秋田県内33箇所目となる「道の駅おが」が男鹿市船川港船川の市道沿いにオープンした。この施設の愛称を書きなさい。

(問題4)

下記の記述について、【 】に当てはまる名称を正しく書きなさい。

昭和初期に文壇で活躍するとともに、美貌の作家としても知られた五城目町出身の作家【 A 】の業績を後世に伝えようと開設された記念室が「五城館」内にある。五城館向かいには、『一白水成』の銘柄で全国的に注目を集める醸造元【 B 】酒造があり、その赤煉瓦の壁の前には彼女の文学碑がある。

(問題5)

下記の記述について、【 】に当てはまる名称を正しく書きなさい。

鳥海山の【 A 】が映る大谷地池を中心に四季折々の自然が満喫できる南由利原高原には、サイクリングロード、600mm ジンデン敷反射望遠鏡を備えた本格的な天体ドームをはじめ、プラネタリウム、貸出用天体望遠鏡などを備えた天体観察施設、オートキャンプサイト、テントサイトなどがある。また、鳥海山の北陵に位置する仁賀保高原には、ジャージー牛を育てる【 B 】があり、味を損なわない低温殺菌によるジャージーミルク、牧場で開発・加工した数々の乳製品・肉加工品等の販売を行っている。

(問題6)

新潮社記念文学館の記述について、【 】に当てはまる名称を書きなさい。

秋田県【 A 】出身で、新潮社創設者である佐藤義亮の功績を顕彰する施設として平成 12 (2000) 年 4 月にオープン。佐藤の生い立ちから、青年時代、晩年までを年譜で紹介し、貴重な資料とともに新潮社の沿革を辿りながら、明治以後の日本近代文学の歴史の一端に触れることができる。同館の名誉館長は、【 A 】に疎開し、母親の自死に遭った体験にもとづいた小説「北の河」で第 54 回芥川賞を受賞した作家【 B 】。

(問題7)

「道の駅てんのう」の記述について、【 】に当てはまる名称を書きなさい。

日本海に沈む夕日の景観が絶景の高さ 59.8m の「天王スカイタワー」がランドマークで、天王【 A 】の愛称で親しまれている道の駅。約 20ha の広大な園内には、「ピクニック広場」、「バーベキュー広場」、温泉施設「天王温泉【 B 】」、地元の重要無形民俗文化財を紹介する「伝承館」、直売施設「食菜館【 B 】」などがある、老若男女に人気を集めるスポットとなっている。

(問題8)

「道の駅かみこあに」の記述について、誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

上小阿仁村の国道 285 号沿いにあり、秋田市と十和田八幡平方面とのほぼ中間点に位置する。特産品や土産品などを扱う物産センターの他、野菜や山菜を並べる出店も出る。特産の食用たんぼぼを使ったソフトクリームが名物になっている。

(問題9)

下記の記述について、誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

日本三大霊地の一つに数えられ、かつて硫黄鉱山があった三途川地獄から、高温の温泉水が毎分 3t 余り湧き出している。それが落差 20m の滝になって流れ落ちている大湯滝は、夏場は滝のあたりの湯温が 40℃ほどになって、滝壺が天然の露天風呂になる。湯は強酸性で、入浴には問題ないが飛沫が目に入ると沁みて痛い。入浴適期は 7 月上旬～9 月中旬。

(問題10)

世界自然遺産「白神山地」を秋田県側で体感できるスポット 3 箇所について、次の 3 つのキーワードを必ず使用し、100～150 字程度の文章で説明しなさい。

「原生的ブナ林が体感」「360 度の大パノラマ」「散策路が整備」

【祭り・行事】

(問題1)

大館神明社の祭礼では囃子山車が運行される。大館囃子は4曲からなり、京都風の流れを汲むと伝承されている。このうち、明らかに京都風の名残を持つ囃子の名称を何と書いてください。

(問題2)

角館(仙北市)でおこなわれる小正月行事の一つで、主として豊作を祈り、田んぼの厄を祓うために火のついた俵を振り回す祭り行事がある。人びとはこの火の粉を受けると一年中風邪を引かないともいわれる。この祭り行事の名称を何と書いてください。

(問題3)

鹿角市花輪でおこなわれる祭礼では、豪華な屋台にのせられ奏でられる花輪ばやしが有名である。この祭りがおこなわれる神社名を書いてください。

(問題4)

下記の記述について、【 】に当てはまる最も適切な語句を書いてください。

東湖八坂神社(潟上市)では一年間にわたり諸神事が繰り返されている。この神事は【 A 】と呼ばれる人を中心にして全ての神事がおこなわれるもので、特に例祭日にあたる7月7日の祭事では、天王(潟上市)側からは素戔鳴尊(すさのおのみこと)に扮した者が登場する【 B 】と、船越(男鹿市)側からでは船越水道に浮かべた船の上で【 C 】を演じるものがみられる。

(問題5)

下記の記述について、【 】に当てはまる適当な語句を書きなさい。

能代市御指南町にある日吉神社の例祭は、旧暦4月【 A 】の日で、この日の前日の宵宮祭では【 B 】というものがおこなわれてきた。この祭りは結婚1年以内の初嫁が、お礼と幸福祈願のために、腰元に手を引かれながら【 C 】の姿で行列になってお参りをするものである。

(問題6)

県北では三匹獅子(ささら舞系)のものが多く伝承されているが、阿仁前田の獅子踊りでは獅子踊りを中心とした様々な芸能がみられる。その獅子踊り以外の芸能の名称を 2つ 書きなさい。

(問題7)

カマクラ行事は横手のかまくらが代表的であるが、秋田県内ではそれとは違ったカマクラ行事がみられる。その横手かまくら以外のカマクラ行事を 2つ 書きなさい。

(問題8)

由利本荘市石脇に伝わる石脇神楽の説明で誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

石脇神楽は伊勢の太神楽の系統を引くとされる獅子舞の一つである。獅子頭そのものを神楽とも称して大切に扱われている。この獅子舞(神楽)は石脇新山神社裸参りに奉納されたあと、町内を廻り、各所で神楽を舞うことになるものである。

(問題9)

湯沢市の七夕絵どうろうまつりの説明で、誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

今から 300 年ほど前に、京都の鷹司家が佐竹南家 7 代義安に嫁いだ奥方を慰めようとして、お屋敷で短冊などを竹に下げてネブリ流し行事をおこなったことをきっかけに、庶民にも広まったという。今では巨大な美人画が描かれた絵灯籠が大通りを所狭しと、飾り出されている。

(問題10)

秋田万歳について、次の 3 つのキーワードを必ず使用し、150 字程度の文章で説明しなさい。

「祝詞(しゅくし)万歳」「囃子(はやし)万歳」「噺(はなし)万歳」

【自然】

(問題1)

男鹿半島の南側海岸には、緑白色の岩が多く見られる。この岩石は、新第三紀中新世の火山噴出物が海底に堆積し、さらにマグマの熱で変性したものである。この岩石を含む地層は、日本海沿岸に沿って北海道から九州まで見られ、グリーンタフと呼ばれている。この岩石の名称を漢字で書きなさい。

(問題2)

秋田市の砂子淵集落の北にあり、流紋岩の柱状節理が発達し、凸状地形の山は何と呼ばれるか、漢字で書きなさい。

(問題3)

由利本荘市鳥海百宅にあり、流長 100m、落差 57.4m、滝は 3 段で構成され、その雄大さから「日本の滝百選」にも選ばれている、この滝の名称を漢字で書きなさい。

(問題4)

栗駒山に関する記述について、【 】に当てはまる最も適切な語句を書きなさい。

栗駒山は、岩手・秋田・【 A 】の 3 県にまたがる【 B 】型の二重火山であり、多様な環境に高山植物が群生し、国定公園として保全されている。

(問題5)

シラガミクワガタに関する記述について、【 】に当てはまる最も適当な語句を書きなさい。

シラガミクワガタは、薄青紫の地に濃い青紫の線が入った花卉の美しい【 A 】科の草本で、白神山地の岩場や岩礫地に生育する白神山地の【 B 】である。

(問題6)

八幡平の大深岳に源を発する玉川には、豊富な水量を利用していくつもの大型ダムが建設されている。そのダムの名前を 2つ 書きなさい。

(問題7)

秋田駒ヶ岳には、溶岩が裸出した岩壁や、火山礫が堆積した大焼砂、雪田など多様な環境があり、多種類の高山植物が生育している。その高山植物名を 2つ 書きなさい。

(問題8)

下記の記述の中で、誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

秋田県の花はフキノトウである。早春の山菜として親しまれている「バツケ(フキノトウ)」は花茎で、通常食用とされる部分は、フキの茎の部分である。

(問題9)

下記の記述の中で誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

秋田県の魚として県民に親しまれているハタハタは、初冬の海が荒れ始める頃になると、秋田県沿岸の砂浜に大挙して押し寄せ産卵する。

(問題10)

北投石について、次の4つのキーワードを必ず使用し、120字程度の文章で説明しなさい。

「重晶石」「玉川温泉」「台湾」「ラジウム」

【生活文化】

(問題1)

秋田フキは大きいことで知られているが、食用のほか、屏風などにフキの茎葉の現物を使用した技法の工芸品が伝承されている。この工芸品の名前を書きなさい。

(問題2)

明和 8(1771)年、松本運七が開いたのが始まりとされ、東北の三大窯業地といわれた窯が仙北市にある。その後、途絶えていたが昭和 50(1975)年に復興した。この窯で作られている焼き物の名前を書きなさい。

(問題3)

能代市出身で、プロ野球チーム阪急のエース投手として活躍し、引退後、野球殿堂入りした選手の氏名を書きなさい。

(問題4)

日本そば「西馬音内そば」の記述について、【 】に当てはまる最も適切な語句を書きなさい。

西馬音内そばは、羽後町を代表する麺類で、文政元(1818)年に創業した店が元祖といわれる。そばはつなぎに【 A 】を使ったコシの強いそばで、食べ方は【 B 】と呼ばれる冷たいそばが主流である。

(問題5)

県内の郷土玩具の記述で、【 】に当てはまる最も適当な語句を書きなさい。

横手市の中山人形は瀬戸物の中山焼として開窯したが、後に粘土細工で【 A 】づくりをはじめて現在に至っている。毎年発売される【 B 】は特に人気が高い。

(問題6)

大館市出身の流行歌手・上原敏の代表曲を 2 曲 書きなさい。

(問題7)

秋田には十和田湖、八郎潟、田沢湖を舞台として繰り広げる三湖伝説が伝わっている。これに登場する主な人物の名前を 2 人 書きなさい。

(問題8)

鹿角市出身の歴史学者、内藤湖南の記述の中で、誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

内藤湖南は新聞記者から京都大学に招かれて教授となり、東洋史を担当した。邪馬台国論争では、邪馬台国の九州説を唱えて論戦を戦わせた。

(問題9)

郷土料理の食材として利用されている「ぎばさ」の説明の中で、誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

「ぎばさ」はホンダワラ科のクロモという海草で、熱湯をかけて包丁で刻み、三杯酢などで食する。食するのは秋田・山形県が主であったが近年、他県でもこの海草を加工・販売するようになった。

(問題10)

郷土料理の「石焼き」について、次の 3 つのキーワードを使用し、150 字程度の文章で説明しなさい。

「男鹿半島」「味噌仕立て」「金石」

【産業】

(問題1)

農業振興を目的として毎年場所を変えて開催されている、明治 11(1878)年 9 月が始まりの歴史あるイベントを何というか、書きなさい。

(問題2)

秋田市の西部、北は外旭川から南は新屋までの地区全体に広がった油田地帯の名称を書きなさい。

(問題3)

羽後本荘－矢島間全長 23.0km で「鳥海山ろく線」を運行する第三セクターの鉄道会社を何というか、書きなさい。

(問題4)

下記の記述について、【 】に当てはまる最も適当な語句を書きなさい。

古くから、卓越した技を伝承する【 A 】が豊かな味わいを誇る秋田の酒を作り続けてきているが、近年は経営者の世代交代とともに、経営者自らが杜氏をつとめる【 B 】もみられている。

(問題5)

下記の記述について、【 】に当てはまる最も適切な語句を書きなさい。

合板とは、丸太から薄く剥いた板(単板)を、木目のように交互に重ね、接着したものであるが、原料については、以前は主に【 A 】が使用されていたが、近年では【 B 】の利用が大幅に増加している。

(問題6)

秋田内陸線が結ぶ、始発駅、終着駅となる 2つの駅名を書きなさい。

(問題7)

秋田県の野菜のうち作付面積が大きい品目を 2つ書きなさい。

(問題8)

地熱発電所に関する記述の中で、誤っている箇所を見つけ、その 誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

地熱発電所は平成 26(2014)年 11 月末現在、全国で 24 カ所稼働しており、このうち 3 個所が秋田県に所在する。現在、県内では由利本荘市にある山葵沢地域で新たな地熱発電所の建設が行われている。

(問題9)

新日本海フェリーに関する記述の中で、誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

秋田港には平成11(1999)年7月に、苫小牧東港、新潟港、福井港を結ぶ長距離定期フェリー航路が開設され、物流と観光の両面で利用されている。運航会社は大阪市に本社がある新日本海フェリー(株)で、秋田港に秋田支店を置いている。

(問題10)

秋田県の畜産について、次の3つのキーワードを必ず使用し、150～200字程度の文章で説明しなさい。

「飼養農家の高齢化」「豚」「比内地鶏」